

議案等の件名・主要内容及び質疑・賛成、反対意見や各議員の態度

同=同意、承=承認、議=議案、諮=諮問、報=報告		議案等の主要内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先。 ※委員会に対立意見がないものは本会議の賛成・反対。	議員氏名	市政クラブ	公明党	新国会	共産党	青政会	高志クラブ	高浜市民の会								
種類番号	件名																		
6月定例会(会期:6月13日~7月4日・22日間) 議案等																			
陳第9号	すべての子どもたちによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書の提出を求める陳情	①幼児教育・保育の無償化は現物給付とし、財源は全額国費で給食も実費徴収を行わない。②認可外保育施設等は国の保育士配置と面積の最低基準を満たし、質を確保するための措置を講じる等。計3点の実現を求める意見書の国への提出を。	反対 幼児教育無償化では、保育の質や子供の安全は脅かされない。また、国は制度設計、財源も最大限努力している。 賛成 公立園の無償化の財源は地方自治体によるため、公立園の民営化が進むことが懸念される。国の責任で行うべき。	荒川 義孝	神谷 直子	杉浦 康憲	神谷 利盛	柳沢 英希	杉浦 辰夫	北川 広人	鈴木 勝彦	今原 勝彦	小嶋 克文	長谷川 美克	黒川 美克	内藤 とし子	柴田 耕一	岡田 公作	倉田 利奈
				結果	○=賛成、●=反対														
				不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○

※北川広人議員は、議長職のため表決権はありません。

市政のここが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。
なお、掲載文は、議員本人作成(文責)の原稿です。



内藤 とし子 議員

子育て支援について

問 国保加入世帯のうち、所得金額が200万円未満はどれだけか。

答 加入者世帯4,844世帯のうち3,497世帯。

問 国保税は、経済力のない子供にも1人当たり3万9,200円加算される均等割

があり、子育て支援に反するが、子供に対する均等割を廃止し、引き下げる考えはないか。

答 現行制度の下では、子供の均等割での減免制度導入は、負担を他の被保険者や市民全体で負うという財源の問題も生じるので、現在、子供に対する均等割を廃止する考えはない。

問 安倍首相は、「平成30年度から行っている国保改革の中で、子供の被保険者が多い自治体への財政支援を行っている。」と答えていたが、高浜市は、その交付金をいくら受けているか。

答 平成30年度は389万3,000円で、保険給付費等を中心に国保運営のために活用している。

問 小学校入学前までの均等割の合計額は、

答 人数は193人で、約548万円。

問 子供対策で交付されているならば、せめて入学前の子供に還元すべきではないか。

答 国保運営に活用しており、被保険者へ還元していると考えている。

いきいき号について

問 バス停間隔が直径400mの円から外れる地域をなくすよう見直し、市民の交通権を保障しないのか。

答 運行方針として、いきいき号の利用希望者を必要な場所にできるだけ短時間で送ることを目的としているため、提案手法での設置は考えていない。直径400mで停留所が重なっている場所のうち、湯山町地区などは、高齢者が多く住んでいる地域と一致していると思われる。

問 運行方法は、どのように決めてきたのか。また、高浜市地域公共交通会議メンバーのうち、市民は何人か。

答 いきいき号の利用者等のアンケート調査・パブリックコメントでいただいた課題・意見等を抽出し、高浜市地域公共交通会議で方針を決定している。また、市民メンバーは2人。



黒川 美克 議員

高浜市の情報公開について

問 金入り設計書を公開した理由は。

答 中央公民館の金入り設計書開示の裁判が行われ、裁判所の指摘等を総合的に検討した結果、金入り設計書を自主公開した。

問 議会提出資料と情報公開請求開示資料との内容が違い、改ざんが疑われるが、違う理由は。

答 議会提出資料の内容が正しく、情報公開資料が誤り。誤りは2回目の変更契約の決裁を上げていく中で、金入り設計書の1回目の変更内容が反映されていないことに気づき、その時点で設計書を正しい内容に直したが、予算執行何いに添付した変更設計書の差し替えを失念し、誤った情報のまま今日まで保有していた。

問 市長決裁のある情報公開資料が間違いで、決裁のない議会提出資料が正しいという理由は。

答 議会提出資料は議案審議の参考として必要なもので、工事内容が分かればよいという判断

でデータとして提出した。

問 今まで金額を公開せず、裁判所に公開したから公開するとして誤った情報が出てきたが、誰の責任か。

答 行政責任は、不作為が行政機関として不相当で、損害を与えた場合は責任があるという認識を持っているが、なぜこうなったかという原因は、具体的に詳しく調べなければ何とも言えず、今の状況では言及できない。

問 この誤った情報は誰の責任で、どのように検証するのか。

答 今回の件は、誰が間違いを防ぐことが可能であったかという視点で、まずは再発防止に万全を期す。その過程で、過失の度合いについて責任を判断する。

問 今すぐ、正しい数字の変更設計書の提出を。

答 誤りに気づいたのが昨日か一昨日くらいである。今まで誤ったまま保有してきた文書を決裁もなく差し替えをすると、改ざんにつながる。どのような形で正しい文書として提出するか、手続きとしてどうしたらいいか、弁護士に相談している。以前に訴訟を提起された経験があり、慎重を期して行いたい。